京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金四十五錢●三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 三月八日
發行編輯兼印刷人 山下
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其八

放浪子

●露國公使ウエルベル(續)

▲ウエルベル夫人も侮り難き外交手腕を有して居つた、閔妃に取り入て掌中のものとした遣口なぞは頗る凄いものであつた、露西亞の婦人には斯ふ云ふのが隨分ある、ウエルベル夫人も純露西亞種ではなく先祖は韃靼人である、所謂タタールスキーである。

▲閔妃とウエルベル夫人と同盟を約するや日本黨を一掃することの計畫がたてられたそのグーデーターを落下せんとする準備整ひ、霹靂一閃將さに發せんとする矢先に、大院君と岡本柳之助の謀議成て、所謂王妃事件となり、美事に日本派に機先を制せられたのである、渠等夫婦が青筋をたてゝ憤激したのは無理もない噺である。

▲折角謀つた同盟もこの事件に於て、根底より崩壞して仕舞つた、茲に於て渠は更に之を盛返す方法を講せねばならぬ、併し閔妃との同盟は崩壞したが、宮廷内には渠の手足は殘て居る、況や李熙王は閔妃の關係より露國の崇拜者である、加るに李範晋といふ浦潮歸りの如才ない男を捉へた、李完用、李允用の兄弟も渠の足下に跪く、渠はこの三個の才子と宣教師等を巧に利用して亦宮廷内に大勢力を樹立した。

▲日本派に一泡を吹かせるときが來たと、渠は誤認した、夜中窃に仁川碇泊の自國軍艦より、大砲三門と陸戰隊とを京城に潜入せしめ、拂曉景福宮に突撃せしめた、處が親衛隊のために美事に喰止められ、不手際なる失敗をした、されど其遣方は頗る露骨で且大膽である、この騒が世に廿八年の十一月二十八日事件と云ふのである。

▲再度ながら日本派の爲に妨げられて失敗した、渠の憤慨知るべきのみである、渠は更に日本派掃討の謀議を凝らした、大貞洞の露國公使館には、李完用李允用李範晋の面々盛に出入し密議に之れ日も足らざるといふ有樣であつた。

▲その結果として二月十一日事變は持上つた、李熙王は露舘に潜幸し、所謂天子を挾んで號令するのである、新内閣は露舘に組織され、詔勅は露舘より續發せらる、渠の得意は知るべきのみ。

▲されど渠は何處迄もスラブ的の血を受けて、殘忍酷迫を毫も顧慮しない、日本派に對してのグーデーターは非常に殘忍であつた、總理金宏集、農相鄭秉夏の慘殺の如きは言語に絶したものである。

▲虐殺は露西亞の名物である、韓人の殘酷性を利用して專賣物を擧行する到底たまつたものでない、其時余は書を以て大に之を詰つたが、渠の殘忍なる性は更に何の反響もなかつたのである。

以上列擧したる處を以て、渠の人物は大概推想せらるゝことゝ思ふ(完)

寄書　韓國任用着任の法官に望む

在京城日本法律學士　岩本英夫

着任の法官閣下

余閣下の首眉に接せざる事茲に久し何れの日か拜眉の榮を辱ふし韓半島に於ける韓民の生命財産を保持する司法方針を拜聽せんと思考の折柄過日韓國最高法院の統帥たる渡邊大審院長以下數名の法官着任するを得韓國司法部の改革も將に其緒に就かんとす鐵林人鑑●●●何物か之に如かん余は學力に於て人格に於て歐米諸邦の法官を凌駕する俊秀の聞へ高き法官閣下着任せられ不秩序なる賄賂の多寡により勝敗を決せる紊亂せる韓國舊法廷を洗除し一革新を爲さんとする其勞を謙謝し將來の希望を陳んとす

余は母國に於て司法官の重鎮たる泰西の法理に精通する古の經典に通じ詞藻に富み史籍に明かにして昔し令聞の高き大岡判官も三舍を避くる直法司渡邊大審院長以下新任の法官に對し韓國司法制度改革及法適用に付て希望を述べるが如きは謙讓の禮を失するのみならず韓國司法部に於ける手腕及び實績を見聞せざる今日意見を陳述するは早計なるを以て他日に讓り數百年來韓國司法部に纏綿する醜俗を打破する爲め最急の注意を要する一、二の意見を吐露し以て參考に供せんとす

一 韓國の慣習、人情、風俗に精通すること

國の慣習、人情、風俗が法律の原因及法條の適用に付大なる關係を有するは余の言を俟たずして夙に一般の認むる所なれども韓民は辭禮巧にして陰險なる志想及び人を籠絡する手腕を有し偏狹猜疑變腹表裏濟度し難き醜奸なれば慣習、人情、風俗に精通せざれば彼等の爲め却て法廷の神聖を浸さるゝのみならず與の責任者に法を適用する事能はざるなり過日法律新聞は論じて曰く司法部は世資外に孤立し社會の各方面と隔離するが如きは其國の人情風俗を知悉する事能はざるを以て世態に暗く人情に迂にして異個民人の信服する裁判を下す事能はず偏狹猜疑なる韓民を信服せしめんと欲せば司法部と韓國社會各方面と意思の疏通を圖り互に相融和するに如くはなし彼の民人は昧蒙未だ司法權の尊重すべきを解せざるを以て解せしむるの途多々あるべきも文酒徴逐の間に於て知らず識らず會得せしむる如き好個の一法ならんと論述せしが余は其論述に對し全く否定せざれども又全く左袒する能はざるなり何となれば韓國人は意思の疏通を圖り相融和するに從ひ其人に對し親厚なる敬意を拂はずして却つて其人を利用し他人の權利を害するのみならず利害關係の反する裁判を受くる時は種々の流言を放ち其人を傷くる事あり是れ奸獰なる韓人の特性なれば大に注意を要する事項なりと信ず

一 職員の監督及訴訟當事者の行動に注意する事

日本より任用の職員は多年吾國の神聖なる法廷にて實務を執り清廉潔白俊秀の人にて殊に司法事務に精通したる法官なれば別に意見を挾む餘地なく茲に職員の監督なるものは韓國人より任用の職員を指すものなり從來韓國法廷の職員は裁判の神聖なることを知らず其最上級なる平理院の如き漢城裁判所の如き不秩序と言はんより寧ろ紊亂を極め殆んど云ふに忍びざるものあり今二、三の事例を擧げんに彼等の横着懶惰なる常に正式の法廷に於てせずして狹隘なる事務室中無關係の雜輩を集め喫烟談笑の間に審理裁判を爲すが故に當に甚しく体裁を失するのみならず訴訟關係者をして當該判事の誰なるやを判別するに苦しましむる事往々にして之れあり甚しきは職務執行中便器を公衆の面前に持ち出し洒然放尿し敢て憚らず更に甚しきは恬然當事者の一方と賄賂受授の交話をなすの亂暴を演ずるに至る如斯俗習に感染したる職員を法官の範籍に列せしめ指揮監督して司法事務を執行するに付ては嚴格なる模範を示し峻嚴なる監督を要するものなれば其勞多大にして感謝するの外なしとせず殊に訴訟當事者は人を介して贈賄を爲す手段實に巧妙にして驚くの外なし殊に法廷に於て名譽も廉恥も知らざる韓人の事故虚僞の陳述を爲し僞證を爲すが如き普通の常事なりと心得居るものを審理裁判するものなれば敏活なる卓見と熱心なる注意を以て職員監督の任に該り併せて訴訟當事者へ望ん事とを希望して已ざるなり

余は韓國司法制度改革に付きては非常なる多くの希望を有すれども他は着任の法官閣下に讓り最急の注意を要する事項に付聊か希望を述べ法官閣下の着任を迎ふる辭に替へんとす乞ふ之れを諒せよ

●日本の對韓政治（東亞ロイド轉載）

ビヨン、ユン(漢字明かならず)は韓國の名族にして夙に耶蘇教に入り現に牧師の職に在り尋常の韓人と趣きを異にして稍や世界の大勢に通せり彼は日本の韓國經營に對し甚だしき惡評を下し自己の所見が歐洲人の韓國通マッケンジー、ストリー、ハーバート及僧正チャンドラーの諸氏と同一なることを附記せり曰く

日本の對韓外交は二方面に於て其の言質に反せり即ち日本は一面には韓國の獨立を尊重し國民的國家として存立せしむべきことを約し一面には他の列國に對して門戸を開放すべきことを約せるに拘はらず事實に於て兩つながら之を實行せず却つて反對の結果を來せり日本の元老伊藤公を主腦とせる統監府の行動を見よ韓國の政權を全く自國の掌中に握るべき契約を強制し斯くして組織せられたる韓國政府を自國の利益增進の爲めにのみ利用せるにあらずや韓國に於ける利益事業は日本人悉く之を獨占して他の參與を許さず門戸開放の宣言に反するにあらずや而して薄弱無氣力なる韓民は日本の軍隊威壓と言論束縛の爲めに口言はんとして囁儒し筆下さんとして低徊するを免かれず韓國が日本支配の下に立ちてより既に三年何等改善の德政なく舊時よりも寧ろ不良の狀態に在り是れ豈韓民の長く忍容し得る所ならんや中央を問はず地方を論せず官途の要地は日本人悉く之を占て韓國官吏は徒らに虚器を擁し員數に備はるのみ而かも此等の日本官吏が賢良の質にあらず十中八九は日本に於て地位を得ず失敗の餘統監府に因緣して韓國に地位を得たる者なり然るに其の俸給如何と顧みれば日本に於けるよりも三四倍の高きに在り豈に驚くべきにあらずや日本官吏中勿論正人君子にして眞成に韓國の爲め韓民の爲め貢獻寄與を爲さんと欲する者なきにあらざるも多數壓制の勢は如何ともし難く覇氣に富み野心多き同僚の爲め其の意見を行ふを得す沈默無言の境遇に在るを見るなり要するに韓國に於ける日本の經營は兵力的壓迫と利己的貪婪の二大弊に伴隨して眞成に韓民の悦服する所にあらず曲學阿世附炎趁勢の徒は日本官人の鼻息を候し美辭盛言を呈するも多數の韓民は深く日本を憎惡して韓國獨立の再興を謀れり都鄙到る處に日本排斥の運動猛烈なるに激し韓民の意思那邊に存するかを見るべし然れども韓國は今や手なく足なく口なきの不具人なり何等自由意思を發表し自由行動を取ること能はず日本の威力の下に僅に殘喘を保つに過ぎず不幸の民と謂はざるべけんや

●礦業所と煉炭

平壤礦業所當局の談によれば世間にては煉炭事業を頗る容易の樣に速解し礦業所にても何ゆへ煉炭の設備をなさゞるやと怪む向も少からざる樣子なるが當所に於ても絶對に之をなさずとの意見にはあらず業務の進行と共に早晩實行の時機に到着すべけれども凡そ煉炭なるものは世上一般學者間に夙に定論のあるありて之が實行も難事ならざるが如きも扨て實際は大に否らざるものあり日本に於て現今煉炭專門の技師は唯だ一人あるのみにて實地のことはなか／＼困難にして想像の外なりと聞けり且つ煉炭場の如きも隨分多額の費用を要すべく山口縣德山煉炭所の如き物資低廉なる當時に於て建設したるものなるも尚ほ百數十萬圓を要したりといふ去れば當平壤に於て假りに小規模の煉炭場を新設するとするも少くも百萬圓を投せざるべからず是等の理由あるが爲に輕々に着手するを得ざる次第なりと

讀者文壇　投書歡迎

春夢

春の舍

月はおほろに、てらすなる、春の夜ころを、たどる身は、うき世の外の、人とも、なれる心地の、うれしさは、夢かあらぬか、君と我手を携へて、南山の、松の木の間を、わたゝけく、吹風さへも、なつかしく、互にかたる、胸と胸、さもあらばあれ、君と我、天には比翼の、鳥となり、地には連理の、枝ともしも、なりなむものを、いかにかも、花さく春に、あいながら、おもひみだれて、いたつらに、可惜月日を、おくる身を、まちわびて、しのびてあれど、しのぶ身は、しのふにつらき、むねの内、血もわきかへる、心地して、互ににぎる、双の手に、なさけそこもる、花吹雪、つもるもうれし、春の夜の夢

春季雜詠

水原鼈夫

何となくそゞろあるきもせまほしき朧月夜に梅が香ぞする

ほゝゑめる稚兒の口もとにもほれて蕾ゆかしき軒の紅梅

うら／＼とかすむ富士が嶺田子の浦海山かけて春たけぬらし

水車ねぶるに似たる音のしてかすみにしづむ川づらの里

うぐひすの啼く一聲にあかつきを覺ぬ春の夢さめにけり

ちひさなる梅ひともとの我が庭も春は來て鳴くうぐひすの聲

花曇りくもると見てし朧夜の月よりおつるはるの雨かな

小園

苔のうへに露見わそめて玉つばき花散る庭のあめしづかなり

雉子なく片山かげの松ばやしかすみに暮れて春雨ぞ降る

紋のみだれ（百十一）

永井櫻園

勇五郎が山田から歸つて來ると、宅には彼の肥肉な女が莞爾々々顏に迎へて、

「おや、モウお歸りなすつたの、大層早かつたぢやありませんか、奴さん家に居ましたか。」

勇五郎も喜色を滿面へ湛へて、

「あゝ、丁度家に居たから、會つて來た。」

「そりや宜い都合でしたね、何うでした、話の模樣は、旨く行きそうかね。」

勇五郎は長火鉢の前にドシリと坐り。

「行くも行かんもあつたもんぢやアない、此方には攻道具があるんだから、全で赤ん坊の手を捻ぢるも同じ事さ、萬一金子が出來ないとでも吐さうものなら、それぢや娘を連れて歸ると云ふや、元々相惚の間ではある、乳呑盛の小兒はある、乾度金子を作へるから、勘辨して下れと頭を下げるに極つて居るさ、はゝゝゝ。」

「では、金子を作へると受合ましたか。」

「受合つたとも何で否應云はせるものか。」

「では、彌張これだけかね。」と、女は五本の指を擴げて問ねる。

「あゝ、彌張五十兩と吹き掛けて遣たさ。」

「それを否應言はずに承諾致ましたか。」

「然うとも、然うとも……。」

「まあ、能く承知して引受けましたね、では私も約束の羽織が買つて貰へますのね。」

「爲方無いさ、買つて遣ろと約束したのだから……。」

「だがお前さん、その場になつて金子が出來ないで斷るような事は無いでせうか、何だか私不安心で堪らないわ。」

「なあに、その場になつて斷はるやうな男なら、少しは相談相手にもなる、だが、那樣意氣地のある男ぢやないさ……しかし、言ふは言つたものゝ、この計へ日になつてからの五十圓は、容易な事ぢやあ出來ないからね、氣の毒は氣の毒さ……けれども、これも可愛いお前には替られないと思つて隨分手酷く言つて遣つたさ。年は取つても親切なもんだらう。」

「その親切に迷はされて、年にも恥ぢず斯麼間になつたのだもの、その位な事は當然さ……おッと大變、お酒が熱くなり過ぎたらう、先づお祝に一つお上りな、いゝよ、お前さんの好な鮪の刺身を取寄せて置きました。」

云ひつゝ、酒肴を取出せば、勇五郎は滿足さうに、

「こりや有難い、天は雪模樣で戸外の寒いつたら、全で身を切られるやうだ、どれ熱いのを一杯飲らうかね。」と、杯を取上げれば、女は酌をする。

「しかし、妙な事からお前さんと斯麼事情になつて了つたが、娘さんでも來たら何と云つたら可いでせうね。」

「なあに、言譯なんか要るものか、私が病氣の看病に頼むだと言つて置たから、若や娘でも來た時は、その意に胡魔化して置くさ。」

「豈夫、お前さんがその年になつて、女狂ひをするとも思はないでせうね。」

「然うさ、嚊が死んでから永い間、女なんか見向も爲なかつたから、那樣事は思はないさ、まあ／＼心配しなくても大丈夫だ、私が注いで遣るお前も飲め、飲め……。」と、差つ、差されつ、樂しさうに酌交すのであつた。

京城新報

統監の歸任に就て

統監の歸期は近づきぬ、回顧すれば昨秋韓太子を擁して、漢城を去らるゝとき、在留民の多くは新協約の表面に顯れたる、辭令の巧みなると、韓太子を誘導せることが、大なる成功の如くに思惟し、一齊歡呼して之を迎へ其行を盛にしたりき、統監自身も成功を誇るもの〻如く、意氣昂然として行程に上りたりき、馬關に上陸せられ東京に達する迄、沿道の祖國民も皮想の觀に驅られて盛に歡迎したりき、當時余輩は世論に反して苦言を呈したるも、伊藤式の華麗なる道行に醉ひたる世間は、更に顧る所なく亦何等の反響もなかりき、

爾來半歲に亘り、新協約の缺點は顯れ、統監政治の失敗は眼前に發露し、閣に謳歌したる世論は掌を轉ずるが如く、其失政を論難攻擊するに至れり、從て余輩の苦言は世の認むる所となれり、余輩は之を誇るにあらざるも、少くとも伊藤式華麗政策の皮想に眩惑せられざることを世人に識認せられたるを以て自ら慰むるのみ、

更に追懷す、當時統監が意氣揚々歡呼の聲に送られて發程せらるゝとき、其政策には反對せしも、一種の雅懷は胸臆に浮びぬ、そは古稀の老軀或は是が永遠の別れにして歸任は到底期し難し、然らば花を持たせるも可ならんと、何ぞ圖らむ、半歲餘の歲月は亦一の道行政策を案出せられて、掉尾の活動を爲さむ爲に來ると聞く、余輩をして腹臓なく言はしむれば、衰殘の老軀を煩はさるゝよりも、有爲の適材に之を讓らるゝことを望みたりき、今や此希望も空しくなり、亦もや老軀を漢城に迎ふる光榮を有せんとは、人事意の如くならざる十に八九とは豈眞ならずや、

統監歸任に就て、其發展に多大の希望を有するものあり、且つ目醒しき脚色の有るが如く傳ふるものあるも、余輩は之を信ぜず、亦期待もせざる也、唯だ望む所は先決問題として統監自身の職責を鮮明にすることなり、純然たる韓國の攝政となることとなり、此問題にして決すれば、統監府の廢止は自然に來るなり、在留帝國民の保護機關設置も定らむ、從來の如く日韓兩民に涉る朦朧たる政策は、到底持續すべきものにあらず、失政の根源亦た玆にあり、統監歸任に就て望む所唯之れのみ、豈夫れ多きを期待せんや、

●漢城便り

▲恐慌の暴風韓國經濟界に襲來すべきことは記者が半歲前に於て豫告し亦警告したるところに御座候而るに世は案外無頓着にて記者の言などには耳を貸さゞる有樣なりしが金融逼迫も今日の程度に達すればモー一歩にて大恐慌と相成候事疑無之候

▲甚だ不祥の言を爲し候如く有之候得共記者の恐見を以てすればまづ恐慌の起るは早くば六月遲くは八九月頃ならんかと被存候其時に到らば意外の方面に破產者續出し經濟界は一時暗憺たる有樣に陷り可申候

▲恐慌の爲に破產者を生ずる迄に至るは韓國經濟界が內地經濟界の圈內に入りたる證據にして是迄の如く喜憂共に韓國は韓國丈と云ふ孤立的を許さゞる事を說明致候

▲玆に於て當地經濟界に處する人士も舊孤立式時代の如く無暗に不動產などに資本を固定せしめ實の持腐りを爲さゞる樣心掛ねばならぬ事と相成申候

▲暴徒の存在さへ殆んど認めざりし御用紙京城日報が暴徒の處分を以て最重要の問題と爲すに至りたるは聊か奇異に感ぜられ候願ふらくは此際一步を進め暴徒處分の論議を其紙上に於て公にせられたき者に候

▲今回中村再造氏が叙勳せられたるは陸軍當局者が氏を叙勳するに因て其正直を表明致候者に御座候少なくども彼等は戰役に關する何人の功勞をも無視せざることを表明致候

▲斯くありてこそ誰も軍に對して盡すことの盡し榮あることを感じ候者に御座候中村氏が盛大なる叙勳園遊會を開きたるは居留民の爲に氣を吐きたる者に御座候

東京電報

▲ス氏遺族の謝電

スチーブンス家に對し日本政府よりの厚情を多とし同氏遺族より鄭重なる謝電ありたり

▲米露交涉と我政府

東清鐵道敷地內に於ける露國の行政施行に對し米國政府より抗議中なるが日本は此の事件に立入らざる方針なりと云ふ（六日發）

各地電報

▲定山の衝突

二日午後七時四十分定山派遣隊伊藤伍長以下五名定山郡「インメンゾンジョウリ」にて賊約六十名と衝突し交戰三十分敵の死傷不少我に損害なし（六日天安發）

雜報

●軍司令官臨檢 龍山にて目下建築工事中なる兵營檢查の爲め昨七日午前長谷川軍司令官は石川副官を從へ臨檢したり

●大臣會議 昨日午後一時統監官邸に定例大臣會議を開きたり

●參與官會議 昨日午前十時三十分より例の如く統監府樓上に於て參與官會議を開きたり

●暴徒の經濟上に及ぼせる影響（續き）

二、農業上の影響

目下三南地方は內地の單獨旅行は勿論少數日本人の在留は實に危險の狀態に在り韓人と雖も日本人の使役の下に在る者は往々にして匪徒に慘殺せらるゝを免れず是を以て農事經營者の如き深く內地に在住する者に在りては其の打擊を被る事最も甚しく今や遂に積年の經營を棄てゝ其の根據地を引揚ぐるの已むを得ざるに至れるは誠に絕大の恨事とす現に全羅北道益山、三禮に在りたる農事經營者は屢々暴徒の同地を來襲せし以來他に移轉し金溝郡の礦山も亦事務所を巡查駐在所所在地に移し事業は何れも殆んど中止同樣の狀況なり加之木浦、榮山浦、光州、錦山、江景、全州、公州の如き比較的安全なる地に在りても土地を所有せる者は多くは韓人をして小作せしむるものなるが爲めに其損失を招ける者頗る多く且是等の地に在りては韓人に金錢を貸附せる者少からざるが是又容易に督促する能はずして頗る困難を感じ居れり

暴徒の剽掠は獨り日本人に止まらず韓人富豪の其の害を被る者亦少からず現に高山、礪山の如き不穩の地方の富豪は難を避けて全州江景等に來れる者あり殊に山村僻地に在りては米價非常に低落して農民の經濟は紊亂し思慮なき韓人等は又前途を悲觀して疲弊の心を挑び悒悒として殆んど其の業に安んぜざるが如し今や氣節は春暖蒔種の時に入り尙地方の秩序回復せずんば本年末に於ける農民の困乏は其の極に達し慘狀目も當てられざるに至らん

三、徵稅上の困難

地方民は暴徒の剽掠と產業上に受けたる大打擊とによりて著しく疲弊を來し既に納稅の資力を失へる者多きのみならず暴徒は又租稅徵收に對して妨害を試み財務官吏の職務執行に危險を與ふるは勿論良民を脅かして租稅を納付する者は直ちに一家を殺戮すべしと揚言し爲めに人民の納稅を躊躇する者多く中には既に納付したる稅金の還付を請求する者さへ出で公錢領收員（韓人）に於ても遂に一部少額の返却を敢てするの已むなきに至れるものありと云ふ特に近時暴徒の兇暴は其の極に達し財務署以下公錢領收員を襲擊し公錢を掠奪する者少からず爲めに公錢領收員に於ても徵稅を躊躇し更に辭任を申出づる者多きに至れり此の如き狀態なるを以て郵便局徵收の如きは全く行はれず全般に亘りて其の成蹟頗る不良にして光州の如き一月中には徵收皆無なりしと云ひ務安郡にては地租總額七萬一千餘圓の中年々其の半額若くは少くとも三分の一は正月以前に納入濟となるを例とするに拘らず本年の納額は僅かに千圓以內に止まれりと云ひ又公州にても例年に比し納入濟額三分の一に過ぎずと云ふ如斯狀態なるを以て度支部に徵收を委託せられたる驛屯土其の他宮田等の如きも收稅者は其の地居住の舍音なるを以て特に困難なるべし今參考のため全州管內に於ける地方財務に關する暴徒の被害件數を示せば左の如し

一、稅務所の襲擊を受けたる數 十ケ所
二、廳舍及び文簿の燒失せる數 一ケ所
三、財務主事又は署員の遭難數 三人
四、面長以下公錢領收員の遭難數 四十餘人
五、負傷又は殺戮せられたる數 八人
六、掠奪公金額 八千八百餘圓
七、租稅徵收額に及ぼしたる金額 約五十萬圓

四、各地の金融狀況

木浦 日本內地に於ける金融界の大勢に伴ひ一般に引締り銀行業者は警戒して貸澁るの態度を取り前々年來土地熱盛んにして多く資金を固定せるため一般に逼迫を感ぜる折柄出穀期に際し日本內地の相場思はしからずため玄米の廉入をなし又綿花の輸出荷爲替等に資金の需用を激增したるも幸に一方節季を扣へたるため輸入爲替金の受込み多額に達し能く其の調和を保つを得金融先づ順潮に在り

群山 一月は舊曆年末に當り韓人等の節季にして殊に其の賣買の盛なる時期なるにも拘らず本年は市況甚だ不振を極め金利は最高黃錢五厘最低二錢九厘の間にして葉錢は二十三割に下落し舊白銅貨は百圓對百二圓の相場なり若し暴徒の出沒尙繼續せば前途悲觀すべきものありと雖も唯幸に本年四月には居留地內に於て學校の增築其他三四の大なる建築工事及び土工起るを以て稍々繁忙の狀況を呈するべし內地韓人側の金融は其の恢復甚だ困難なるべし

全州 昨年八月頃より九、十月頃迄は金融一時沈靜せしが其の後暴徒の漸く勢力を減じ人心稍々平穩に歸したるの結果十一月頃より漸次貸出しを增加し十二月一月に入り約十四萬圓の貸出を見るに至れりこは主として米、木綿、金巾等に用ひられたる者なり地方の狀況 農工銀行其他手形組合の如きに於ても擔保物件の運搬困難なるを以て前年上半期に比し其の貸出閑散を示し地方金融組合の如き小農を救濟すべき事業なるに拘らず地方不穩にして組合員の募集意の如くならざるため全州の如き未だ貸出開始に至らず己に業務を開始せる全南其の他の地方に於ても豫想の如き營業をなす事能はざる如し（終）

●篠谷警視の地方視察談

京義鐵道沿線地方を視察して歸京したる內部警務局の篠谷警視を訪ひて視察談を聞く氏は淡の如き美髯を撫しつゝ徐ろに語つて曰く余が今回の視察は地方警察勤務の狀態及び其の配置の適否等に存し出張の時日も極めて短く隨て詳細に各地方の狀況を調查する事を得ざりしも黃海道一部には今尙多少の暴徒出沒し農工商の發達に阻害せる如く是等の暴徒は初め義兵と稱し一時は其の人員多數にして一般人民よりも敬意を拂はれ韓國の獨立を全ふするを以て其の目的とせし如きも討伐隊に擊攘せられて其の勢を失ふと共に時勢の如何ともすべからざるを悟りて各自家に歸り今は僅かに火賊及び解隊兵の衣食に窮せる者が小集團をなして掠奪を逞ふするのみにして口に義を唱ふるも實は强盜の群に過ぎざれば一般人民も其の恐る可きを知りて敬すべきを思はざるの有樣なり平安南北道には土着の暴徒無く時に黃海道より襲來して討伐隊に擊退せらるゝ有るのみ蓋し此の兩道は日清日露の兩役に於て日本軍隊の活動を目擊し其の威力を自覺し居るの結果日本に反抗するの意思無く且つ地方の人士は王朝以來政權に遠かり三南の地方に比して政治的思想の乏しきに原因するなるべし故に此の地方は暴徒の害は甚しからざるも基督教徒の勢力は偉大なるものにして平壤宣川を中心として布教に努め義州の如き最近に於て千名以上の信者を增加せりと云ふ而して彼等は到る處に學校を設け其の組織完全にして小學校より大學迄系統的に之を設立し中には特殊の教育をなす學校すら設備し一般人民の信用を博し居れり彼等は屢々には布教の一手段として政府の政策に反對し日本の行動を批難せる者有りし如くなるも現今に於ては公然斯の如き言行はなしと云ふ

鴨綠江の沿岸地方は日韓清三國人の競爭地域なるも由來清國人は勤勉にして苦勞を厭はず加之其の金利低廉にして年利四分乃至五分なるに反し韓人は怠惰にして力行せず日本人は一攫千金を夢みて眞面目なる事業に着手せず且つ其の利用する資本は月四五分の高利にして到底經濟上清國人との競爭に堪へざるもの〻如し尙同江を上下する船舶は大部分清國のジヤンクにして聞く處によれば清國は義州の上流沿岸に於て輸入貨物に對し關稅を課し通行稅を徵するも韓國沿岸は義州龍岩浦の外は關稅の取締充分ならず清國品は無稅にて韓國に輸入せられつゝありと云ふ此の二事は共に鴨綠江沿岸經營上注意を要す可きものなりと信ず且つ此の地方の韓民が飲用する酒類は多くは清國製の燒酎にして其の輸入は頗る多額なる如く而して之が釀造の原料は此の地方に生產せらるゝものなれば眞面目なる事業家が此の地方に其の釀造所を設くるは產業上必要にして且經營者を利する事多大なるべし寧邊一帶の地は金鑛其の他の礦物に富み各所に採掘試掘或は發見せられたるもの多數なれども未だ充分に資本を投じ眞面目に着手せるものは極めて少數なり若し之等の礦山にして完全に經營せられんか後來頗る有望にして此の地方の經濟狀態は一變するに至らん云々

●巡查戰死の詳報 咸鏡南道三水郡巡查駐在所は本年一月賊徒襲來の際燒毀せられ一時民家に於て執務せしも暴徒の橫行甚しく少數の巡查にては到底執務不能に付惠山鎭に引揚げ居りしも近時少しく賊勢衰へたるの觀ありしを以て三月一日韓人巡查四名派遣せられ邑內秩序の回復を計りつゝありしに四月六日賊徒の歸順を申告せしものあり指定の地に於て會見し其の結果報告のため二名の巡查は所屬分署に出頭し殘員二名にて勤務中四月十一日午後十時頃約三十名の暴徒突然其の宿舍なる高丘里民家に襲來發砲せり兩巡查は直ちに應戰せしも衆寡敵せず其一名は僅に現場を遁れ分署に急報せしも他の一名朴在順は遂に敵彈に中り即死し同宿の商人一名も亦賊彈のため負傷せり此の事實は三月十三日咸興電報によりて略報せし所なるも土地遼隔にして交通不便なるため其の詳報漸く今に至りて手に入りたるものなり

●京城居留民團立諸學校に就て

◉小學校 京城居留民團は本年度より第二小學校を新設することゝなりしを以て日の出町に在る從來の京城尋常高等小學校を第一小學校と改稱され南山本願寺下に在り分校は全く廢止され元と第二尋常高等小學校の假校舍に充てられ更に南大門保稅倉庫跡に第二小學校分校教室を設られ四月十四日より兩校共學期を開始せらるゝなり尤も第二小學校は南大門保稅倉庫跡に新築工事を起され來る暑中休暇後迄には落成の見込なり因みに第一小學校々長は河合精一郎氏にして第二小學校々長は横山彌三氏なり

◉幼稚園 庚子紀念幼稚園は從來の儘なるが今回更に高等女學校附屬幼稚園を設けらるゝことゝなり庚子紀念幼稚園の方は既に開園せるも高等女學校幼稚園の方は來る二十日頃より開始さるゝと云ふ

◉高等女學校 京城居留民團立高等女學校は三浦校長も來任し教諭教授も夫々任命若くは內定し目下開校準備に急ぎ來る二十日頃には開校する豫定なりと

◉通學區域 京城居留民團立の小學校も二個となり幼稚園も二個となり從ふて居留地內の通學區域を二分する必要に迫られ南山町一丁目本町二丁目明治町一帶の線より西部に屬する地域は第二小學校及び高等女學校附屬幼稚園の通學區域となり其れより以東の地域は第一小學校及び庚子紀念幼稚園の通學區域と定められたり

●ス氏の追吊會 來九日午後二時曾禰副統監の主催にて南山町本願寺に於て韓國各大臣次官各局長其他警視廳統監府所屬官廳の高等官及軍司令部師團司令部憲兵隊各將校並に各國領事宣教師等を會して追吊會開催に就ては須氏の生前の知己は隨意に參列すべしとなり

●咸南教育會總會 五日磚洞普成學校內に咸南教育會の總會を開き左の事項を報告又は決議す會する者四十九名前會々錄及役員氏名報告、會計報告、規則改正役員請願に對し處理の件等にして右終て金光濟は大要左の演說をなす

當時代は學校を設立し學識を發達せしむるときは自然國富む國富むときは國家萬民の幸福なり依て予は諸君に向つて益々此會の爲めに盡さんことを希望す云々

●市原盛宏氏 第一總支配人市原博士は一昨日歸任せられたる由なり

●小田柿氏 三井物產會社參事長小田柿捨次郎氏は當地支店事務引繼の爲め數日前着城せられたるが感冒の爲め目下引籠中なりとの事なり

●木浦會議所の航路補助 木浦商業會議所は木浦鎭南浦間沿岸航路の定期滊船に對し從來一航海に就き三十圓を補助し年額三百圓を支出し居たりしが本年三月にて其の契約期限滿期となりたるに就き同所にては今回又向ふ五ケ年間一航海に對し三十五圓の補助をすることに可決せりと云ふ

●日本郵船の北韓航 北韓清津の開港に伴ひ大坂商船が大坂元山線を延長することは昨紙所報の如くなるが日本郵船にても同企畫する所ありて命令航路の關係上目下遞信省に申請中なれば許可次第直に開始さるべしと云ふ

●近事片々

▲皇太子殿下四日御發輦山口德島兩縣下に行啓あらせ王ふ兩縣人民歡迎知る可き也

▲昨年來南船北馬殊に韓國に迄渡らせられ今亦行啓皇儲の御勵精も稀有事にこそ

▲昨秋御渡韓の際英姿を拜し參らせたる吾儕は其民を愛で玉ふ御仁慈を遙に感佩す

▲有栖川若宮殿下薨去は吾儕臣民の痛哭哀悼に堪へざる所御父君の御歎き察せらる

▲拓殖會社の外資輸入の計畫は井上侯と添田興銀との默契なりと聞く注目を要す

▲外資輸入は添田興銀の專賣か會社自身が之を爲し得ざるか是れ一の研究問題也

▲拓殖會社經營方針巴爾幹半島ボスニア開拓者墺人フオンカータイに則るとの事也

▲總裁は宇佐川と內定せるが如きも亦目賀田の呼聲起る中原の鹿誰が手に落ちん乎

▲韓人政客の渡米近來頻繁なりと聞く德壽宮邊陰謀の影只に見へざるか注意肝腎也

▲暗殺計畫の飛語紛々曰く統監曰く宋農相曰く現閣大臣と烟の上る處必ず火ある也

▲統監暗殺の巷說三百有餘の連判成ると是亦統監政治の甘きに附込む韓人特有陰謀

▲暗殺に依らざれば目的を達し難しと放言せる在米兇徒と氣脈を通せることは異也

▲何時迄も蠢動せしむるは双互の不利益也希望する所は一刀兩斷の處置之れ急務也

▲大韓每日亦日人何知と題して自說を辯護す間に不落語るに落つと此事也唯失笑耳

▲排日にあらず唯專心韓國の爲也之を否とせば言論の自由なしと吐く豎子救へ難し

▲眞面目に日本の圈外を脫し得らると心得るのか夫が根本の誤だと教るのである喝

▲統監政治の失政あらば攻擊せよと敎たではない帝國に弓を引なと叱るのだ解たか

▲露國ウイツテ伯スラブ民族同盟と題する大新聞發行の計畫ありと其發刊を待つ也

▲露國では兎に角ウ伯は豪い奴だウ伯總理の時代早晩來ること請合冀くは健在なれ

東京電報 ▲有栖川若宮任官

●韓官任命

全國各市町村助役以下一萬六百六十二名に對し今日戰後經營の功に依り行賞あり

任印刷局技師叙奏任官二等 西尾守行

●仁川神宮渡御式 仁川大神宮渡御式は

公人私人

△三野髄精（龍城歩兵第二十五旅團司令官）

▲有栖川若宮任官 有栖川若宮殿下は陸軍少尉に任せられたり

▲一萬餘の助役に行賞 [illegible]に對し今日戰後經營の功に依り行賞ありたり

▲三池港の開港 福岡縣三池港明日より開港の筈（七日發）

●韓官任命 六日左の如く任命あり
任印刷局技師敍奏任官二等 西尾守行
任財務監督局事務官敍奏任官四等 高田官吾
任財務署財務官敍奏任官四等 新莊陽三郎

●金塊の輸送 平安北道雲山金鑛より採取せる金十二個價格三十萬圓を此程同地より仁川第一銀行支店に送致し來れるより同行にては更に大阪造幣局へ送附する筈尚同金塊は大阪にて鑑定の上造幣するものなりといふ

●仁川神宮渡御式 仁川大神宮渡御式は曩きに本社として民會にて許可するの意向[illegible]して擧行するも差支なきを確めたれば愈々理事官の許可を出願せり

公人私人
△三好[illegible]（步兵第二十五旅團副官付中尉）山本旅館へ
△[illegible]三中隊中尉）湯尾旅館へ
△小島清介（同）同

●深夜の泥睨

一昨夜十二時過ぎ旭町二丁目の角を通ると廿歳前後の皺皮の剝けた美人が情人を待つ風情で佇んで居た、僕が通ると『橘さん待兼ねたわ』と言寄られ僕は性來異性に對して至極臆病であるから怖わ〳〵ながら立止つた、すると美人はチョイと僕の顔を見てアラ失禮人違でしたわとすた〳〵向へ去てしまつた、何だ馬鹿々々しいとつぶやきながら五八銀行の前に來ると彼の角に若い男女がひそ〳〵話をして居る、怪しからぬ奴どもだと態と近寄て通ると驚いた、男は知らぬが女は彼の近所の某店の娘である親達は些と注意するがよからう、それから木島時計店の前でまた立話して居る男女に出遇した、これは職人体のいなせの男と都亭の仲居と見たは僻目か、進で赤門へ曲る角にへベレケに醉たヨボが電信柱にがしやがしやと小便をかけて居た、いくら日本人にばかり喧ましく違警罪を勵行してもだめだと思つた、司令部通りを曲らうとすると又も男女の密會に出遇した、女の聲で『早く出やう〳〵と思ふけれど客があつて出るわけに行かなかつた』と野鄙な口調で辨解して居つた、男の顔は分らぬが女は慥に此近邊の下女と見た主人の寢靜つたのを見て出て來たのだらう無用心のことだ、僅か二十分斗り道程五六丁の間に四組の男女密會に遭遇した、これで京城居留地の風紀が如何に亂れて居るか察せらるゝ殊に良家の子女が深更男と密會する抔とは鑿かざるを得ないじやないか

●西署管内の掃除 西部警察署にては過日より外勤の巡査は申すに及ばす内勤の警部巡査迄總出となり管内の各戸毎に嚴達して春季大淸潔法を施行しつゝありしが雨天さへなくば爰二三日にて終了すべしと因に同管内は日本町は至つて少なく重に韓人部落のみなれば其の裏通又は路次にいたりては汚穢此の上なく且つ從來日本警察の干渉するなく例の悠長なるヨボ警察の時代に屬し今回が始めての大掃除なれば之が完全なる施行に就ては却々に困難を感せしも幸ひ署員一同の熱心なる努力に依り最も完全に掃除せられしは時節柄喜ぶべき事共也

●鐵道青年會の活動寫眞 日本基督教青年會韓國鐵道青年會に於ては龍山に假館を設け講演會、懇談會等を開き又た兒童の爲め日曜學校を設け新聞、雜誌、樂器、遊戲品等を供へ人々の使用縱覽に供するのみならず不日夜學校を設くる筈にて之れが經營費の一助となさんと來る十、十一の兩日午後六時龍山鐵道構内元陸軍倉庫に於て慈善活動寫眞會を催す由其畫題は慈善の報酬、卵の手品、回向院大相撲、凱旋軍觀兵式、蝴蝶の舞、クリスマスの夕、スキッツルの冬、籠より佳人、西洋魔術、論客の失敗、大膽なるいたづら小僧、松樹山の激戰、東郷艦隊の奮鬪、大人の蝶捕、勇壯なる体操、沈勇なる紳士等にして入場料は特等一圓、一等五十錢、二等三十錢、三等二十錢小兒券五錢なり尚は京城より來觀者の爲め午後十時半頃龍山驛發の臨時列車ありと云ふ

●龍山の家賃引下演說會 龍山に於ける土地家賃引下期成會に於ては一昨日午後七時より龍山座に於て同問題に就て公開演說會を開催せり江守滿次郎氏は開會の辭を兼ね地主との交渉顚末の報告をなし夫より朝鮮日々新聞京城支社の山口赤城氏及び龍山民報の山本淡水氏等の土地家賃値下げに就て其意見を陳べ喝采を博したり聽衆は數百名に及び頗る盛會なりし

●馬齢薯種の寄附 神戸市奥平野村村田平左衛門は同地方稀有の資産家なるが同氏は數十年前より國内不時の災害に具ふるは瓜哇薯を耕作するの必要を感じ爾來挺身同耕作に從事し來れるが過般統監府農工課長を通じ統監府所屬農場にて試作の爲め一千磅を寄附し來れるが尚個人農業者に對しても進んで其種子を贈與すべく此程其獎勵の爲め印刷物數十枚を橫山助役の手許迄送り越せり

●花の香を追ふ狂蝶 松の綠は來る春と共に其色を深めれど公園の噴水は未だ水涸れて雲龍奔騰せずされど此陽光に浴せんとて登臨の客絕へざる木覔山下に宏壯なる甍に住居ひ時めき玉ひ當世一の才子と呼ばれ自らも許るし玉ふ山の邊の唯人と名乘り玉へる官人こそは在しけれ此官人性來の色好みの方とて花月や掬翠は申すに及ばず淸華亭に至るまで藝妓といふ藝妓を漁り果ては新町までも馬を打たせられしのみならず偶には仁川まで汽車栗毛を試みられ其道の粹人として同僚に持て囃され玉ふを此上なきことゝ思ひ居らるゝが此頃の陽氣に伴れ意の駒は一層狂ひ出し胸に引締めし手綱も今は切れ果て花月の館に乘り込みた平の長芋然たる君江の臀にツルリとこそ陷り込まれたるはツイ此頃なるが夫れからといふものは君江〳〵と怪しからぬ御鍾愛にて宴會の最中にもれ厭ひなく憚りに行くとて伴ひ行き怪しき素振りをなされることも少からず陽氣の高まると共に益々官人の逆上は劇しくなり恰かも花の蜜を追ふ蝴蝶の狂へる如くなりと公園散步の立話しを其儘

●松代さんは感心だ 故鄕には二世を契つた所夫もありソレに可愛の盛あるものをナンボ一家の事情からとは云へ今のわたしの境遇は自分ながら愛想の盡きる程イッソ賤しいながら女郎なら女郎藝者なら藝者と身分が極つたならば其の料簡で自分も萬事諦めて了ふものを慾いコンナ小料理屋の酌婦となつたがそも〳〵身の過ち世の人からは淫賣婦のカルボのと後ろ指差さるゝ辛さもツマリ僅か六十圓のれ金の爲めと思へば心細くもなるがナニ借りたれ金さへ返して了へば明日からでも自由の身体假令情は許しても立つる操の一筋は幾千代變らぬ相生の松と松との若みどり、オヤ何うやら淨瑠璃の文句めいて來たが全くツウだから仕方のない譯オヽソレ〳〵其の自由の身体となつて一日も早く故鄕に歸り所夫の側で苦勞をしたいが何よりの願ひ思ひ出す程其の時の有樣が目先きにチラ付いて飛び立つ許りの思ひわたしやホントに其の時になつたら什麽なに嬉しいだらうマツ京釜線の一番列車で歸れば夕方釜山に行きそれから連絡船に乘り込むと翌朝は馬關着馬關から今度は廣島行の切符を買ふて丁度四時頃停車場に着く見當ソコで俥を雇つてガラ〳〵と西の方へ一里許りも行くとそこに大きな銀杏の樹があツて其の銀杏の樹から右へ折れて又二三丁行くと小さな橋が架つて居る其の橋の袂の草葺の家が其のわたしの戀しい〳〵家車屋が轅棒をガチリと止めるとわたしは俥の毛布を刎ね除けて大急ぎに障子ガラリイキナリ『逢いたかつたツ』と所夫の膝に取り縋がると蛇度所夫は『ヨウ歸つて來て呉れた』とわたしの背を撫でるだらうさサアそれからが越し方の苦勞咄しヤー什麽な心持ちかしらあゝ早くそうなつて見たいものだな一日も早く〳〵と知らず〳〵大きな聲を張り擧げ果ては松代姐年にも恥おずワツ〳〵と泣き出したるに此の家の女將は只呆れ返り『松代さん一体什麽したの』とポンと脊中を叩くと松代は初めて吾れに返りれかみさんツとた客がないものですから火鉢に凭り掛つたまゝ故鄕のことなど胸に浮び夫れから夫れへと考へ出して思はず知らず淚を零ばしまことにすみませんでと謝すれば傍に坐り居りし朋輩も只管同情の念にや堪へずありけん『チーたかみさん松代さんはホンに感心ですよ那の人の事は夢現にも忘れませんからネー』と口を添ふれば折柄表を通る素見の客かは知らねども暖簾の口より至くツウですよ三河屋の松代姐さんは感心ですよと賴まれもせぬ餘計な口をけるが其の三河屋とかいふ小料理屋は民團役所の裏手ですと附記した念の入つた割にサッパリ面白くもない投書が忙はしい最中に舞ひ込んだまゝを

●た前の物は妾しのもの 南署茶洞三十二統二戸朴泰元（八十）は身には何の藝能もなく只あるものは女道樂さ酒好きの癖のみなるが此の厄介男親爺の資産のあるを賴みとして毎日何の爲す事もなく日を送る丈けならば又しても近頃は慾い當世のハイカラ界を似出して日本の風アッよろしい西洋の食物タンダニ、チョッソさ許りにお人よしの親爺をせがんではヤレ洋服の眼鏡の山高帽子のと言ふだけ放題の物を買つて貰つては獨りホク〳〵喜び夫れ等のものを着飾つてはブラ〳〵と歩き果ては其の自分丈粹に思ふ金緣眼鏡に洋服姿をば途すがらの蝎甫屋又は酒舖の酌婦達に見せびらかし朴さん鳥渡樣子の好い事と言葉の一ッも掛けらるゝを何よりの樂みとなし奴さんも亦天下の色男は拙者で御座い嘘なら京城の蝎甫に聞いて見よと許りにグット逆上せ上りしが近者は驕つてツラ〳〵思ふやう朝鮮人にして朝鮮の女を自由にするは是れ世の普通也男兒須らく異國の花を折る亦妙ならずや抔と詰らぬ所に力瘤を入れ今度は河岸を替へて日本町方面へと發展し爰本町七丁目は竹の家といふ小料理屋の婦酌にてれな注（十八）とかいふまるで達磨さんの軸物を倒にしたやうな女に現を拔かし例の洋服姿で切々と通ひ居りしが什麽した都合か件の女の許に通ふ度に太事な〳〵命から二番目の指輪や眼鏡や時計やらが何時の間にか無くなるにぞ奴さん聊か不思議に思ひ居りしにツヒ二三日前右の女が自分の鏡臺の抽斗を開ける途端金の指輪の現はれ出でしを端なく男に見付かり之は什麽か俺の物でないかと一本參られしも女は至つて平氣なもの貴郎のものは妾しのもの妾しのものはヤッパリ妾しのもの二人の間で水臭い色男にも似合はない人とニッコリ笑ふてポント男の肩を叩きしかば奴さんグニャリとなり、あんたそんな氣アジよろしいと半可通の日本語を振り廻はし夜を晝に次いで件の女に深くなりては時節柄熱い〳〵で通ひ居るとか

●淫賣屋居浸りの男 が竊盜犯の嫌疑にて警察署に引立られし由は昨紙報する所なるが尚ほ聞く所によれば旭町三丁目の遠藤猶太郎方に於て去る四日衣類數點を何者にか竊取せられしより其筋にても搜索中の處彼の明治亭に流連し居りし鈴木喜平が以前の物品を携帶し居りしより竊盜犯の嫌疑者として逮捕せしも當時喜平は正体なきまでに泥醉し居りて口述する所要領を得ざるより其まゝ留置せられたりと

●子の敵を親が打つ 一昨日本町八丁目の玉ころばし屋元山鶴吉方の店先に於て同町原口武八の長男傳次（十四）といふ腕白息子が他の小供と戯れ遊び居れるを韓人の金弘植（三十）といふが眺めて居ると傳次は猪口才にも此のヨボ何を見て嗤ふのだと唾を吐きたるに弘植は赫と怒り此の小僧奴と言ひさま平手を以て傳次の面部を擲ちたるを傳次の父武八が店先に於て是れを見るより直ちに飛び出し己れ何を爲くさるのだと弘植を引つ捕へ其の横面を續けさまに打ち擲りたるに弘植は韓人に不似合にも仲々以て屈伏せず武八に抵抗し爰に一場の立廻りをなし居る所へ査公が巡視して取調べて見ると弘植の强かりしは道理にて渠は大に酩酊し居れるより双方を警察署に連れ歸り說諭の上放還せられたり

●無届屠殺 南大門外の屠畜場に於ては牛馬羊豚類を往々無届にて屠殺する由は曾つて傳聞せし所なるが果せる哉一昨日警吏が淸潔法實施の爲め同所に至りしに折しも二頭の豚を無届にて屠殺し居ることを發見したりといへり

夏物新着荷大賣出し

空氣呼鈴並に室內電話

斬新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御觀覽旁々當店へ御來店有られん事偏に乞願奉り候敬具

韓國京城本町六丁目

歐米雜貨商 中塚支店

謹告

小生儀是迄大阪福田京城支店ニ於テ經營罷在候處今般協議ノ結果同店ヲ辭シ左ノ場所ニ於テ獨立營業開始仕候間何卒倍舊ノ御愛顧御引立ノ程願上候

京城永樂町二丁目赤門前
活版印刷業 諸帳簿製造 博誠舍印刷所

同旭町二丁目三河屋旅館
諸官衙御用達 酒井惠三郎

臨時移轉廣告

今般改築中當分本町四丁目淵上商店內及び第一銀行橫手の二ヶ所に於て臨時營業仕候間不相變御引立の程伏て奉懇願候 以上

京城本町四丁目
內外藥品 有名賣藥 卸小賣商
近藤貴生堂藥房 (電話一三八番)

▲電車割引券發賣
▲電車割引券
▲龍山線區域改正
▲電車發着時間改正

四月一日より鐘路本社及龍山電車停車場にて發賣す
六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし
四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とす
四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

韓米電氣會社

會席御料理

並に仕出し

京城三好町歌舞伎座前

筑紫亭

移轉廣告

今般左記ノ個所ヘ移轉仕候ニ付テハ爾後層一層品質ヲ精撰シ技術尤モ精巧ニシテ價格低廉ニ大勉强可仕倍舊ノ御愛顧伏テ奉希候

京城本町四丁目 赤帽子號印舖

諸官衙御用印刻處 奧野岩太郎 電話九三三

●大勉强廣告●

○うなぎ蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり

本町座前大和湯向
きく紋
電話九百五十四番

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候
鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚
本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦
芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社
京城出張所 (電話二十六番)
仁川出張所 (電話六十三番)

開店御披露

御料理

並に壽き燒かしわ

新築落成仕候に付き本月二十九日より開業候間續々御來車被下度奉願上候 敬具

京城南山町三丁目

○勝

會席御料理

並に仕出し

京城壽町一丁目

香川亭

西洋御料理宴會

日本人倶樂部

京城南山町三丁目電話(一二三番)

日本澤庵
味噌醤油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店 (電話二五一番)

本店 仁川理事廳通 (電話三二番)

原金旅館

支店 京城南山町 (電話一〇七番)

拾有八年の實驗
最新學術の應用

齒科醫 勳六等 檜崎東陽

京城南山町三丁目 (日本人倶樂部向)

和洋御料理

並に かきかまめし

外に洋食、すし
一皿ニ付金十五錢

京城本町五丁目 釘本商店前入

あづまや

○開店御披露○
○惣菜御料理○
○べんとう○
○茶めし○

其外御好に應じ仕出し可仕候
通人隣方御待兼ねの御料理愈々相始め申候に付續々御來駕御玩味奉願候

京城南山町四丁目 魚芳內

甲子 (電話四二八)

會席御料理

並に仕出し

京城本町一丁目

曙亭

會席御料理
並に仕出し

西小門內

橫濱亭

日本法律學士 岩本英夫法律事務所

京城本町一丁目八十四番戸 (電話六四二番)
仁川港新町一丁目九十七番地 (電話五二七番)

謹告

エジプト莨及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶

在韓清國人

大連、安徽
湖北、江南 彩票發賣

●但彩票者毎月一回抽籤●

京城水標橋二宮街

各國雜貨商 源源號

高等牛乳

●御待兼の洋種乳牛(第二回輸入)到着仕其筋の御檢査も相濟申候

●今回畜舍及牛乳取扱室を改築し搾取並取扱法を改善し最近學理の指示せる衛生的方式を守り眞に純正靈活なる高等牛乳差上可申候

京城南大門外

韓國畜產株式會社

(電話九二八番)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎮南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店 (電話五八番)

爲替取組先

畿內	東山道	山陽道	南海道	北海道	臺灣
二十七ヶ所	十三ヶ所	七十五ヶ所	二十三ヶ所	五ヶ所	二ヶ所
東海道	北陸道	山陰道	西海道	韓國	清國
二十八ヶ所	十ヶ所	十三ヶ所	三十ヶ所	九ヶ所	一ヶ所

龍山

青木醫院

(電話一〇四番)

一般衛生試驗の依賴に應す

院長 青木清六
副院長 原志磨治
藥局長 島山貞雄
京城分院
日韓病院 百合野福松
永登浦分院 松村勝識

病室增築中

小兒科
內科
梅毒科

入院隨意

京城壽町三丁目

阪井病院 (電話二一六番)

易斷觀相鑑定及教授

黃文閣

本町六丁目

電話讓物あり

京城御望の方は旭町二丁目三河屋(電話一一八番)迄御來談ありたし

日本郵船株式會社

仁川瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番

京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 四月十二日 後三時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 四月十二日 後四時出

錦路丸 月 日 後三時出

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 四月十日 後一時出

山東丸 四月廿三日 前十時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月廿三日 後一時出

●鎮南浦行 第一オハヨー號 四月九日 後三時出

●釜山出帆、元山浦鹽行 弘前丸 四月廿三日

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事